

第1回OBコンサート開催!

クラシックギター界では日本初の試み

1993年3月21日 於：吹田市文化会館メシアター大ホール



9期竹本さん指揮による大合奏「お父さんの晴れ舞台」

OBコンサートの企画・構想は思い起こせば随分昔の話になります。出来ればいいのだが、といつささやかな希望の裏側には実現への熱い思いを抱いた多数のOBの存在があったと思われまます。実動のスタートは平成元年7月のOB会幹事会にての提案、同年の機関紙第4号に掲載された「OBコンサート実行委員会委員募集」の記事に逆かのほります。コンサートを夢の如く望んでいたと思われる我がOB会にしても委員を希望する人はたったの1名でした。コンサートの実現はスタートより困難を極めました。しかし乍ら各学年幹事のご助力により実行委員会のメンバーも増大し、平成2年6月にはOBコンサート実



第 8 号

平成 5 年 11 月 1 日

関西大学ギタークラブ
OB会・発行

行委員会が結成され実現への道が拓かれました。当日は各メンバーのコンサートへのポリシーを確認する段階にとどまりましたが、翌平成3年6月には「OBコンサート実行委員会第2回会議」を行い、内容についての具体的な討議に至りました。

平成5年3月のコンサート実現に至るにはあまりにも長い年月を費やしたとも思われま



植田会長による冒頭の挨拶

すが、OB会のさまざまな実体を考慮すればいたしかたない現実であったかも知れませんが、当コンサートを終えて、第2回、3回と続行する事を幹事会に於いても決定した上、次回からはよりスムーズに運営される方法で進みたいと思えます。尚、コンサートの運営に携わった「実行委員会」のメンバーは次の通りです(敬称略、期順)。

- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 6期 | 上田 新平 | 17期 | 森兼 弘 |
| 9期 | 竹本 真一 | 19期 | 木村 浩二 |
| 9期 | 高本 健児 | 19期 | 稲谷 朋彦 |
| 13期 | 谷本 陽男 | 21期 | 北島 和彦 |
| 16期 | 坂田 年正 | 29期 | 西原 努 |

実行委員会は4月2日、第19回会議にて残務処理を終えて解散しました。お疲れさまでした。第2回コンサートの準備に入る前に新たな実行委員会メンバーを募集致しますが、次期委員長は12期の山本直次さんが引き継いで下さるということで内定しました。

出演者は88名

出演者数は司会者2名を含む88名でした。構成はクラシック独奏3名、クラシック3重奏1組、フ



1、2部司会者の大川さん(16期)

ラメンコ独奏1名、フラメンコ2重奏1組、ポピュラーアンサンブル、バロックアンサンブル、ラテンアンサンブル、大合奏の全10ステージと盛り沢山で行われました。延々3時間にもわたるコンサートで、入場料は無料といえどもお客様にとつては少々大変だったかな、とも思える大コンサートでした。



3、4部司会者の勝山さん(19期)

入場者数は521人

当日の入場者数は521人(入場料は無料)で、その内OBは50〜60名でした。出演者が88名ですから140〜150名のOBの皆さんが参加したことになります。又、コンサート後の打ち上げには出演者、非出演者、現役生を含め100名弱が参加しました。ギターを媒体とするOBの皆さんの情熱を実感したと思います。



続々(?)と入場するお客様

OBコンサートに寄せた

季節上は春だがまだまだ肌寒い3月21日、関西大学ギタークラブのこの画期的なOBだけのコンサートが行われました。学生ギター界ではOBだけで合奏等を含んだ大コンサートというのは珍しく、過去の例ではソク・重奏のみであったり、又現役の定期演奏会に補助的に出演する程度のもので伺っております。それ故、当コンサートのように100%OBのみで、しかも幅広い

年齢層で行われたのは大変意義深いものであると同時に、準備に当たられた「OBコンサート実行委員会」の皆さんの御苦労は想像を絶するものだと察します。関西の学生ギタークラブは純然たるクラシック音楽で非常に高レベルで、中でも関西大学ギタークラブはその雄たる存在です。日本を代表するギターリストの福田進一氏も同クラブの15期生と聞きました。優秀なギターリストを送り出している同クラブの第1回OBコンサートは遅すぎたともいえる開催だった様な気がしてなりません。

会場は思った以上に大きく、来客数の少なさが気になる程でした。ギターコンサートなら中ホール程度が音響の面でもベターだと思いますが…。さて、その内容についてですが、OBだからといって面白おかしく造られるの



ポピュラーアンサンブル

ではなく、すべて堅すぎるほどに音楽面を追究していたのには感服しました。ソク部門ではもともと兵もの揃いの同クラブ故納得のいくしべルでしたが、中でも坂田氏は余裕もあり安心して聞ける演奏で当コンサートを飾ったお一人だったと思います。フラメンコの西山氏は最近では簡かなくなつたジブシーの土着の哀愁を思い起こさせる好演で、若々しく張りのある演奏でしたが、要所要所に弱音を効かせれば……というところでしようか。三重奏やフラメンコの二重奏などの合わせものも素晴らしい乗りで10数年のギャップを感じさせないギターへの情熱を感じ取る事が出来ました。特にフラメンコ二重奏はお互いがわずか数分間のステージを完璧に仕上げたい、そんな熱い思いを感じさせる演奏で、感動しました。



バロックアンサンブル

帽の思いです。バロックアンサンブルは最も難しく最も批評されやすい楽曲で、なおかつ指揮者もたてずに見事なアンサンブルを作り上げたと思います。同曲にしてはやや小編成の感がありましたが、優秀な演奏家を結集したパワーを思い知らされました。フルートの輝度やしつとりとした音色はバロック音楽にマッチしたものだと思えます。ポピュラーアンサンブルはお子様連れのOBの来場を促進するプログラムで、小編成ながら十分な音量ですが、その小編成を上手く補ったキーボードの扱いも見事でした。電気音とアコースティックサウンドが良く調和されていたと思えます。大合奏「お父さんの晴れ舞台」は、本当に心の大きな大合奏でした。規模が大きいというのを見るからに素晴らしいと思えます。指揮者は大合奏らしいおらかな指揮ぶりでコンサートを締めくくるには申し分ないビジュアルを演出したと思えます。又、友情出演されたなかのつきさんのギター弾き語りとおしゃべりは堅くなりながらクラシックコンサートをソフ

アンサンブルの出来は素晴らしい、本当に練習ら6回ならこれは驚異です。ラテンアンサンブルは近年には見られない大編成で、パーカッション陣のコスチュームは全盛期のラテンを彷彿とさせてくれました。又、レキントのエスプリはその時代の頂点を正確に描写したもので、その豊かな技量と感性には脱

トに盛り上げ、



ラテンアンサンブル



フィナーレは出演者全員が舞台上がり、長洲剛の「乾杯」を合唱



友情出演のなかのつきさん

既に役目を終えた出演者も舞台上がり客席と一丸となつて歌うフィナーレの「乾杯」の大合唱により、日曜日の家族行業をこの会場に求めた来場者は十分な安堵感と満足感をお土産に持ち帰る事ができたのでないでしょうか。クラシックギタークラブとしての技術や音楽性と、OB会としての友好関係を見事に両立させた当コンサートにまさに「乾杯」の気持ちで会場を後にする事ができました。出来る限り続けられる事を節に希望します。

コンサートのプログラムや出演者等、詳細を知りたい方は、2ページに掲載した「パンフレット」をお申し込み下さい。

第1回OBコンサート 収支報告

(単位:円)

収入	出演者参加費.....778,000
	カンパ及び広告掲載費.....456,000
	雑収入.....54,152 (合計)1,288,152
支出	※ホール使用料(メイシアター大ホール).....284,498
	練習場及びリハーサル会場使用料.....30,000
	チラシ、パンフ等印刷代.....231,044
	写真及びビデオ撮影代(当日).....250,000
	郵送料(ハガキ、切手).....145,710
	デモテープ用テープ代.....24,305
	コピー代.....63,300
	当日弁当代(OB会負担分).....43,211
	打ち上げ代(OB会負担分).....41,370
	舞台裏及び練習場提供お礼.....50,000
	カンパ及び広告掲載者お礼(写真進呈).....53,000
	雑費.....28,575 (合計)1,245,013
	残高

※入場料を無料にする事により、半額になりました。

おおがかりなコンサートであった為、予想以上に膨大な費用がかかり、予算面では幾分心配な面がありました。OB諸氏の暖かいお心尽くしにより、最終的には43,139円の黒字となりました。パンフレット広告又はカンパにてご支援下さった下記のOB諸氏に厚くお礼申し上げます(敬称略)。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1期 根本 善弘 | 6期 墨 勉 | 9期 高本 健児 |
| 3期 植田 淳一 | 6期 上田 新平 | 10期 篠田 年晴 |
| 4期 林 清治 | 6期 山下美佐緒 | 10期 ご 一 同 |
| 4期 佐藤 紀之 | 7期 金銅 清和 | 12期 小野 益男 |
| 4期 富井 善之 | 7期 金銅恵津子 | 13期 大栗美由紀 |
| 5期 臼井 彰彦 | 7期 永井 正枝 | 15期 楠本 正行 |
| 5期 名倉 武英 | 7期 咲田 規子 | 17期 岡本 克巳 |
| 5期 吉岡 正代 | 8期 安藤 隆文 | 17期 森兼 弘 |
| 5期 山本 俊明 | 9期 稲生 哲夫 | 19期 安田 貞之 |
| 6期 山本 雅子 | 9期 井上 享 | 19期 稲谷 朋彦 |
| 6期 山口 幸一 | 9期 池原 保三 | 28期 三野 優 |
| | | 28期 田村 比鏡 |

現役の皆さん、有難うございました。コンサートの開催に不可欠な舞台裏要員と受付要員は現役の皆さんにお願いしました。春合宿終了直後にもかかわらず快く引き受けて下さいました。厚くお礼申し上げます。

OBコンサーティブ演奏

第7期 宮川 眞一

平成五年の私にとつての十大ニュースの一位にあげられるのは、何といつてもOBコンサーティブになるでしょう。

昨年九月からのラテンアンサンブル、バロックアンサンブルの練習は、練習というより「ハル」といった感じで始まったのです。思うように弾けないので、どうしたらいいのか、練習後の反省会は練習二時間に対して長い時は四時間半にも及びました。しらぶでは反省もしくいとということ、六期の西尾さん差し入れの柏原ワインを六本あげたこともありました。(七十〇ミリリットル瓶ではなく一升瓶です)そのせいもあって、指の動きはもう一つでしたが、口の動きはさすがにたいしたもの、指が動かない時は口でこまか



ラテンアンサンブルに出演中の筆者

そつという珍案もとびだす始末です。又、二月末の信貴山柿本家での合宿では練習の事はあまり記憶に残っていないのですが、懇親会での世代を超えたダベリングは非常に楽しいものでした。さらに懇親会の後で場所を変えての反省会。ここでは四期の今田さん持込みのカセットコンロ、コップエルでの熱燗が最高でした。さらに一次反省会後の

二次反省会では、ボンゴ、マラカス、ベースを持ち出してのDANCING。(シユリアナ東京もまつ青ノ)単調なリズムでよくあんなに長時間踊れたものです。(多思つと全く信じられませんが)九月からの半年間の練習が終わり、いよいよ三月二十一日のコンサート当日、久しぶりの心地よい緊張感です。朝からのリハーサルも順調に進み、いよいよ本番。コンサートはプログラムを予定通り消化し、最後の出演者、客席一体となつての「乾杯」の大合唱、幕が降りると同時にどこからともなく起った拍手のうず。終わつたのです。コンサート実行委員の皆さん、楽しかった半年間を本当にありがとうございました。第一回OBコンサーティブに出演できなかった方々、次回にはぜひ練習、反省会、合宿でお会いしましょう。楽しみにしています。

〈大小宴会承ります〉

- 結婚式 ■披露宴 ■お見合い ■ご結納式
- 慶事ごと ■新築祝 ■バースデーパーティ
- ブッフエパーティ(立食パーティ) ■昼食会
- 晚餐会 ■同窓会 ■クラス会 ■謝恩会
- テーブルマナー講習会 ■会議 ■ゼミナール
- 展示会 出張パーティ承ります



繊細料理

■千林本店

〒535 大阪市旭区千林2丁目14-22
京阪千林駅前
PHONE06(952)2046

■南本店

〒542 大阪市南区三津寺町6番地
PHONE06(213)7041-2

■千林本店・三吉庵



■南本店



COFFEE TIME

★11:00AM~6:00PM★

PUB TIME

★6:00PM~11:00PM★

MODERN JAZZ



ホテル エコー
アペロタリールビル
アポロ

☎ 649-6816

あへの交差点角・牛井吉野屋ウチ
アペロタリールビル地階



第1回 OB会独重奏演奏会 出演者募集

《主旨》

同演奏会は次回(平成9年開催)OBコンサートの合間に実現の比較的容易な独奏・重奏のみの演奏会を開催するというものです。OB諸氏の中には意欲的に演奏活動をしている人もいますが、発表の機会が無くそれを待ち望んでいる人も多数います。同演奏会はそういったOB諸氏に絶好のチャンスを与えるべく企画されました。当企画は「OBコンサート実行委員会」とは別に、17期の森兼弘さんを世話役として運営されます。会期は平成7年春の予定。

《お申し込み方法》

下記へ電話、FAX、手紙のいずれでも結構です。住所・氏名・連絡先を明記の上お申し込み下さい。

《申し込先》

森 兼 弘 宛

OB会の演奏を聴きに行つて

第11期 井上 正彦

岡山に住んでいると、大阪に行く事は学生時代に戻ることです。旧友に会う為、西原さんと別れ、プランタンで待ち合せた青木と、楽しい大阪の一日を過ごされた藤原さんの一家をホテルで待っていると、自動ドアが開いて昔と変わらないダンディな小柳さんが風の様に入って来られました。宴会となつてアルコールが入り音話に花が咲く頃には怪しげな大阪弁が飛び出していました。一夜明けると演奏会の日です。阪急電車の中から景色を眺めていると郷愁が押し寄せて来ます。関大前で降り



近況報告

第20期 小林 由佳里

「第一回OBコンサート」御成功おめでとうございます。卒業以来手も触れることのないギターに少々申し訳けない思いがしました。いつまでも楽しんで触れてもらえるものもあれば、弦にカピラ付き、切れてしまっているものもある。またいつの日か楽しい気持ちで音を出すことがあるかも……とコンサートの通知で久しぶりにケースに近づいた埃を払いました。卒業して十数年、今は縁あり三重の四日市へ、あの四日市喘息で有名(な)へ来てもう七年が過ぎました。空に向かつて高くく伸びる煙突。その口からは白・黒・灰色の煙が吐き出され、時には炎さえも見られます。そんな工業都市の姿がある反面、豊富な自然は想像以上で、森林公園や芝生の多さに驚き、何と日本でも有数の星空の美しいポイントまであります。「ああ、え

ると大学まで目新しい風景が続きます。覚えていた名前の店も友人の電話帳の様に処々に残っていました。休日の大学は閑散でした。思い出をたどりながら歩きます。誠之館の階段に懐かしいギター部の貼紙が残っているのを発見しました。メイシアターに着くと見覚えのある顔がキラ皇の如く目に止ります。相変らずの楽屋風景。練習。緊張感。チームワーク。先輩後輩の挨拶。同期のヤアヤアヤア。久しぶりの心ときめく時間。やがて演奏会が静かに始まり。小さなアンサンブル、昔練習したバッハの組曲、華やかなラテンの調べ、情熱的なフラメンコ、そしてソロ、そして大合奏。あそこにも、ここにも目が演奏

らいつころへ来てしもたなあ」とホヤク言葉が影をひそめ、「よし、楽しむぞ」と言葉がようやく芽を出し始めました。少し関西からは離れたが、その分帰省時は目一杯羽根を伸ばし(すき)、関西弁を満喫するという楽しみも増えました。また皆さんもお近くへお越しの際は少し足を止め、私に関西弁を聞かせて下さい。現在は市立中学校の特殊学級で介助員として働いています。漠然と福祉方面に興味があり、何かやりたいという思いはあったものの、現実には何も無い、何をしていいかわからなかつただけに今は結構満足していく田田を送っているように思えます。田田が私自身にとつての勉強であり、7才と3才になる子供たちを育てる上でのヒントにもなっています。(うまいこと言います)嘘だよー！って言われそうですが、まあ、こんな風に、ようやく自分自身が動き出せたかな、と感じています。

いい加減で、スローですが、まあぼちぼちやらせてもらいます。追います。まるでサードパートにいる様な気持ちになつてしまっています。フィナーレがやってきました。「グラナダ」のマスターの中間野さんの思い出話。(その頃現役でした。)感動が響を切ります。涙、涙、青春の思い出が頬を濡らします。「乾杯」の合奏の中で幕が降りて来ました。ロビーに出ると人の輪です。後ろから名前を呼ばれます。振り返ると又懐かしい女の子達(失礼)でした。まるで昨日部室で別れた様な昔と変わらない姿を見せてくれました。打ち上げ会に行く人と別れて帰る新幹線の中で関学OBの吉川さんの言葉をかみしめるのでした。「現役でも負けたが、OBでも差ついたな。関学はOB会もないんや。」

グラナダ南店が10月1日、復活オープンしました。

ギター生演奏の店 (クラシック・スパニッシュ) アコースティック

スペイン風 居酒屋 **グラナダ**

☎(06)314-1267

〒530 大阪市北区神山町8-14 日宝東阪急リジャービル4F
(阪急東通商店街東端 アーケードが無くなってから東30m(ローソン前))

- 6:00~12:00(日・祝は11:30まで) ●演奏 7:30/9:00/10:30
- * 松岡 滋(クラシックG)
- * 岡崎 泰正(アコースティックG, VO)
- * なかのかつき(スパニッシュG, VO)
- * クラシックギターミニコンサート
- * 岡山 友樹(クラシックG)
- * クラシックギターミニコンサート
- * なかのかつき(スパニッシュG, VO)
- * 松岡 滋(クラシックG)
- * 松岡 泰正(アコースティックG, VO)
- * クラシックギターミニコンサート

ギター生演奏の店 (アコースティック) クラシック・スパニッシュ

スペイン風 居酒屋 **グラナダ** 南店

☎(06)213-7223

〒542 大阪市中央区心斎橋筋2-7-11 日宝ロイヤルビル4F
(心斎橋筋ニシムラ西入すく) 三津寺筋の 又は御堂筋三津寺を東入すく 御堂筋と心斎橋筋の間

- 6:00~11:30(日・祝は休み) ●演奏 8:00/9:30/11:00
- * 中元寺 博久(クラシックG)
- * なかのかつき(スパニッシュG, VO)
- * 岡崎 泰正(アコースティックG, VO)
- * アコースティックG, VOミニコンサート
- * クラシックギターミニコンサート
- * 岡崎 泰正(アコースティックG, VO)
- * 飛び入りコンサート

《広告募集!》

あなたの会社、お店などのPRに広告欄をご利用下さい。サイズ・料金は次の通りです。(約500部発行します。)

- 1段全面……………8,000円
- 1段1/2……………5,000円
- 1段1/4……………3,000円

*その他、ご相談承ります。詳細は編集委員会まで

「舞踏礼讃」

第17期 長谷川 容子

OB会コンサートのラテンメンバーム日常生活に戻って行き、踊る機会を無くしてしまっただけで、今年の夏生まれてはじめて「河内音頭」を踊った。OB会コンサートの合宿以来「踊る長谷川」として知れてしまった私(36才・イラストレーター)だが、盆踊りに参加したのは今回で3回目。あれは幼稚園の時、その頃住んでいた団地でお祭りがあって、私は何故か男の子の着る「はっぴ」を着せられ家を出る前から祭り気分には浮かれていた。ところが、ガーン!!表に出てみると、友達の子ちゃんもユキちゃんも浴衣姿ではないか。彼女達の姿は子供の目にも女らしく



大合奏に出演中の筆者

可憐であった。それにひきかえ我が身の無骨さ。何だ何だ、何で私だけ男のこの格好なんだ。あまりのシヨックと恥しさに子供御興にも参加せずアファアと泣きながら家に逃げ帰ったのだった。それ以来「祭り」という話題は家族の口には登らず、子供時代を華やかに彩るはずの祭りに関しては暗黒の子供時代だった。でも、本来踊り好きの性分だったらしく、母の証言によると「小さい時分には、買物に連れて行って店先で音楽が鳴っていると踊り出し、10円もらったこともある子供」だったらしい。そう言えば、ツイストやモンキーダンスを踊っていたような気もする。幼稚園時

代の忌まわしい記憶も薄れ、小学5年生の時に踊ったのが「佐渡おけさ」と「子ぶたのチャールストン」。何と運動会の団体演技がこれ。しかし、小学生に「佐渡おけさ」を踊らせる西宮教育委員会のセンスを疑ってしまう。小学生が手拭いを首にかけて「パンガパン」と手拍子をとるのだ。しかも西宮には小体連というものがあり、あの甲子園球場にて市内の小学5年生が総勢で「佐渡おけさ」と「チャールストン」を踊ったのだ。フオーワダンスは中学生の時に知った。私の通っていた中学校は市内きつての大マンモス校で、1学年あたり17クラスもあった。その生徒の大半が年に何回か生徒会が主催するフオーワダンスに参加した。運動場で繰り広げられるその光景は、さながら中国の祝祭日を彷彿とさせるものだった。高校生になると、女子には体育で「創作ダンス」というものがあつた。他のグループは「野性のエルザ」とか美しい曲に合わせて踊っていたが、私達のグループはアーティスト揃いだつたので、テーマもアヴァン・ギャルドに「ピカソの絵」。これに合う曲は無い!と自分達で勝手に判断して、人間の肉声(私達のワケのわからない声)をテープに吹込んでの熱演だ。「ピカソ/ピカソ/パラパラパラ~~~~ノ」というもの。このあたりで「祭り熱」をとり戻し、度胸をつけるために(別につけなくてもいいが)他のクラスに昼休みに踏み込み「鳴橋音頭(兵庫県立鳴尾高校校歌の演歌バージョン)やチャールストン(当時、西条泰樹がチャールストンを踊りながら歌っていた。「子ぶたのチャールストン」が役立ったのは言うまでもない)を披露したものだ。そして念願だつた浴衣姿での盆踊りは「炭鉱節」。大学ではクラブに忙しく踊ることも忘れてデイスコに行つたのも

OB会会費が2000円になりました。

会員数も現在の組織発足時は3800名でしたが、本年度の新OBで405名になりました。会員数の増加に伴い、諸経費も増大し、会費の回収状況も奮わず運営に支障をきたす現状となつております。「値上げ」については数年前より幹事会の検討項目として幾度となく挙がっていた重要議題でありましたが、本年度7月4日開催の「平成5年度幹事会」にて決定致しました。

新会費は平成5年11月1日より実施となり(平成5年度)、本紙と同封の「払込通知表」より実施致します。尚、それ以前の未払いの分については、従来通り1000円として受入致します。これまでの払込状況については会計の9期 稲生哲夫へお問い合わせ下さい。

社会人になつてからだけど、これにはのめり込まなかつた。タンゴを見て「カッコいい!」と思い社交ダンス教室の門をたたいたけど、あんな風に踊るには長い年月とお金がいることに気づいて1年間で挫折してしまつた。くやしい。その点「河内音頭」は即座参加でコスト不要。とんだりはねたり、メリハリの効いたリズムはともラテン的だと思つ。気に入つてしまつた。通ともなると大胆なアレンジで決めていて奥深さもみせたりなどする。歌が何番でも続いちやうので、汗だくで踊りまくる心地よさ。西尾さん推奨の「河内ワイン」を飲んで踊れば、増々陶酔的な踊りになるのではないのでしょうか。祭りがあつたらさそつてください。

現役生コーナー

近年ギタークラブの新入部員数は順調で、学年毎のムラも少なくなつて来ています。今年の卒業生が19名と多かつたので全体数は昨年度よりもやや減少しましたが、現在の総勢は52名です。内訳は四回生が9名、三回生が11名、二回生が18名、一回生が14名です。

本年度の活動は、5月21日(金)にメイシアターホールで第26回独奏演奏会を開催。15名のソリストが熱演を披露。6月22日(水)には豊中アクアホールで学生ギター連盟第30回定期合同演奏会を開催。ソロに三回生の水戸さん、フラメンコソロに三回生の菅(かん)さん、二重奏には音担の堀さんが阪大の羽原さんと組んでそれぞれ出演しました。

第31回定期演奏会を左記の通りご案内致します。多数のご来場お待ちしております。

第31回定期演奏会のお知らせ

日時/平成5年11月5日(金) 午後6時開場、6時30分開演
場所/吹田市文化会館 メイシアター大ホール

今年は全学年に渡って部員数が多いため、大合奏・小合奏ともに聞きごたえのある選曲となりました。是非ご来場下さい。

プログラム

- | | |
|---------|------------------------------|
| 大合奏 | 大学祝典序曲Op.80(ブラームス) |
| 四回生小合奏 | 歌劇「ジョコンダ」より 時の踊り(ボンキュルリ) |
| 二三回生小合奏 | 「エグモント」序曲Op.84(ベートーベン) |
| アンサンブル | キエンセラ、海と空、JUST PRETEND、素顔のまま |
| クラシック | マドリガルガボット、フリアフロリダ、 |
| (ソロ・重奏) | バラグアイ舞曲(A・パリオス) |
| | 幻想曲Op.54bis(F・ソル) |
| フラメンコ | 激情 IMPETU(マリオ・ペレア) |
| (ソロ・重奏) | 祭りのにぎわい(アントニオ・ペレア) |
| | ブレリアス(ビクトル・モンヘ・セラニート) |

第4回現役合同リクレーション 万博記念公園

〈過去最高の21人参加〉



万博記念公園にて

恒例の現役合同リクレーションは例年通りに現役の定演終了後翌々週の日曜日(翌週の日曜日は打ち上げがあるため)、平成4年11月15日に行われました。今回の場所は、お金のかからない「万博記念公園」。

ちなみに過去3回の参加者はOBとその家族が9~10名で、現役生は6~7名でした。今回現役生が大巾に増えたのは、OB会にとっても大変喜ばしい事です。

今年、現役生にとつては少々足をのばしていた「奈良・飛鳥路」を植田会長の案内で探索する予定です。詳しくは次項をご覧ください。

さて、当日は午前10時に万博公園の中央橋に集合しましたが、歩く所見るところあまりにも膨大な公園で、結果的には同公園のほんの一部を巡るだけで精一杯といったところ。適当なスペースを見つけて昼食と談話のひととき。今回参加のOBは、9期の竹本、高本、稲生家族、19期の木村、20期の本郷家族で、木村さんのわんぱく坊やを現役生が走り回りながらあやしている現役生の優しい一面が印象に残りました。

OBとの交流は現役三回生の八雲さんの提案で行われた草野球によって盛り上がりました。現役OB男女入り交じっての3ベースの野球は、それなりに冗談で又必死で、元気の現役と足腰に不安の残るOBとの歓声入り交じる有効な空間をもたらしてくれました。

見ず知らずの、又相違な年齢差の人間通しがかれほどにまで打ち溶け合えるのは全く不思議な事です。志しを同じくしたひとつのサークルが生んだ絆がもたらした結晶だと思えます。まだ一度も参加していないOBの方、今年こそご参加下さい。



「第5回現役合同リクレーション」

今年はこちらはちよっぴりインテリコースで日本でも有数の歴史探索コースです。古代人の魂が眠る土の上をレンタサイクルで回つてみませんか。詳細は次の通り。



石舞台

「第5回現役合同リクレーション」

奈良・飛鳥路を レンタサイクルで

(予定コース)

橿原神宮前駅～益田岩船～吉備姫王墓～鬼の雪隠・鬼の祖～高松塚古墳～亀石～橋寺(二面石)～石舞台～飛鳥寺(飛鳥大仏)～甘樫丘～橿原神宮参拝

- 日 時/11月14日(日) 午前10時
 - 集合場所/橿原神宮前駅(近鉄・南大阪線) 中央出口
 - 交 通/近鉄・阿倍野橋駅より吉野線に乗り
- ◎単急60分、急行40分(各540円)、特急35分(540円+特急券440円)
◎ダイヤ: 8時/10(特)、20(急)、24(準)、40(特)、50(急)、54(準)
9時/10(特)、20(急)、24(準)、40(特)、50(急)、54(準)

ギターとわが家

第24期 石西 秀志

近頃、同期の間でベビーの誕生が相次いでいます。秋野氏の長女「沙音美ちゃん」を筆頭に福井氏の長男「響君」、タイ在住の楠本氏にも11月に誕生の予定です。

ギター部が縁で結婚してから、はや1年半の我家にもコウノトリが落とし物をしていき来年3月に2世が誕生の予定です。

日増しにでてくるおなを見ながら、「胎教には、やっぱりクラシック」と二人で言いながらギター部の頃の思い出の曲を聴いています。しかし、一人ともあいかわらず、曲を聴き始めるとすぐに睡魔におそわれてしまい、最後まで聴きながら、思い出話に花を咲かせるなどということは全然なく、曲に合わせたいびきだけが当時のままで、くつたら夫婦の1日が過ぎて行くのでした。

先日、「第一回OBコンサート」も夫婦で見に行きましたが、諸先輩・後輩方の頑張りを感じました。わが家のギターは冬眠中ですが、次回のコンサートまでには冬眠からさめるように頑張らなければと思っています。

新OBのむすびがなごころ〜

近年部員数が減少して来ているなかで、本年度の新OB(30期)は19名と、久々の大所帯で既にOBコンサートにも出演して頂きました。ただ、関西在住者が非常に少なく、元部長の安達さんも四日市在住という事で、当面のOB会幹事は元音楽担当(定演では見事なシヤコン又を聞かせてくれました)の鈴木尚文さんをお願いしました。今後ともよろしくお願致します。

「ラテンキャンプ」の開催

OB会の交友イベントはさまざまな形で行われています。以前には数年の期に渡り、一泊二日のスキーツアーが開催された例も有りますが、その多くは学年毎に行われる年次会で、全期に渡るのとは2年に一回の総会のみです。今年に開催されたOBコンサートは中広い学年に及ぶ大変価値ある交友イベントだったと思われます。コンサートに出演した人にとっては2年に一回の総会とは比較にならない程の密度の高い交友関係ができたと思います。ゴルフコンペと9期の有志によるキャンプもコンサートの企画とともに交友関係として大きく前進してきました。

●ゴルフコンペ

さる10月9日(土)、滋賀県は「コムウッド」ゴルフクラブにて、第3回OB会ゴルフコンペが開催され、5〜17期に至る腕自慢のOB16名が参加しました。



第1回ゴルフコンペ時の記念撮影

当日は、賞賛に値するコースの上に、快晴微風の絶好のコンディションにも恵まれ、10名が100を切るハイレベルな大会になり、ブ

レー終了後の懇親会でも、笑いの絶えない和気あいあいの雰囲気にも包まれていました。優勝は初参加の9期・今治さん(書店経営)でしたが、賞品の図書券を迷惑そうに受け取っておりませんでした。

当会は「この会に期は関係ないで、とごうでわしは5期やけど、君は何期や。」が口癖の名倉さんを名誉会長とし、ゴルフ愛好家の参加を広く募っております(女性の方も大歓迎)。次回は、平成6年4月の土曜日(場所未定)を予定しております。

■お問い合わせは 10期 藤田 年晴 迄
☎0727-28-4413

●キャンプ

このキャンプはもとも9期の竹本氏が衝動買いにより求めたキャンプ用品一式にはじまるもので、氏は家族を口頃の罪ほろぼしの為キャンプに誘った訳だがあっさり断られ、そのとばかりを受けたのが同期の高本、藤井の両氏という訳であります。

平成3年の6月、能勢の一里家キャンプ場が第1回目、梅雨のさな方思った通りの悪天候で見た事も聞いた事もない雨のサバイバルに至ったのであります。平成4年9月、これに懲りない面々は兵庫県生野町の魚が滝キャ

ンプ場に再度挑戦、くしくもOBコンサート、ラテンキャンプのメンバーである3人はこれを「ラテンキャンプ」と名付けて、この苦痛をより多くの人に分け与えようと誓ったのであります。コンサート終了後の初夏、ラテンメンバー他を道連れに男女6名で、延々15時間ただひたすら飲み、食い、騒ぎ、朦朧とした朝を迎えるだけの有意義なラテンキャンプが実現されました。又々懲りない面々は、ゴルフコンペと同じ日、10月9日(土)に第2回ラテンキャンプを開催。今回は、非常に精勤な7期の宮川さんが加わった為、これまでとはう



魚が滝キャンプ場にて

って変わった品の良さ。テントの回りには栗の実が散乱し食べ放題で、市場に回っている物とは段違いの美味しさにメンバー全員が感動。おまけに宮川さん持参の本格的な天体望遠鏡も参加してメンバーは無数に輝く夜の産物に興じ、大阪ではとても見られない天の川、210万光年の彼方にあるアンドロメダ大銀河星雲、真っ暗い山から浮かび上がる昂星団等々を宮川さんの講義よろしく、天文学講座付きのアカデミックキャンプとなりました。さて、次回はどんなキャンプになるのやら。次回の予定は来年4〜5月です。竹本さんと一緒に苦痛の一夜を味わってみませんか。

■お問い合わせは 9期 竹本 真一 迄

機関紙に対する ご意見・ご要望は

～下記までお気軽に～

- 住所変更をされた方もご連絡お待ちしております。

6期 上田 新平

9期 高本 健児